

農木ノワーキングホリデーのしざない

風は遠くから理想を含んでやって来るもの
土はもこにある生命を生み出し育てるもの

君 風性の人ならば 土を求めて 吹く風になれ
君が 土性の人ならば 風を呼び込む土になれ

土は風の軽さを 噛(わら)い
風は土の重さを さげすむ
愚かなことだ

風は軽く 涼やかに
土は重く 温かく

和して 文化を生むものを

玉井 袈裟男 「風と土の詩」より



■農村ワーキングホリデーとは？

農業や農村に関心を持ち、田舎暮らしや農作業をしてみたいと希望する都市住民に、繁忙期で猫の手も借りたい地元農家が寝食を無償で提供する仕組みを指します。農家と共に農作業に汗を流し、農村での有りのままの生活を体験することが特徴です。農家との深い交流を特徴とする日本型グリーン・ツーリズムのなかでも、最も「鏡効果（交流による他者の目線を借りた気づき）」の高い形態で、受入農家が参加者から体験料を徴収する教育旅行（農家民泊）とは性格が異なります。

なお、農村ワーキングホリデーの先進地・長野県飯田市では、都市と農村の「パートナーシップ事業」として十数年前から取り組まれており、農村ワーキングホリデーへの参加を契機として、田舎暮らし志向の1ターン者や新規就農者が増加するなど農村再生に画期的な成果を挙げていることから、全国的に注目を集めている仕組みです。

■大学生による農村ワーキングホリデーの意義

田舎暮らし志向者や新規就農希望者など、一般の社会人を対象とした農村ワーキングホリデーには移住・定住の効果が期待されていますが、大学生による農村ワーキングホリデーの場合は直ちに行動に結びつく訳ではありません。しかし、これから社会人として次世代を担う、可能性に満ちた大学生たちと一緒に、共に汗を流しながら農業・農村への思いを語り合うという数日間は、現代社会では数少なくなった貴重な世代間交流の機会となっています。「農村ワーキングホリデーに参加した学生が、農業への温かい理解者となって（胆江地方に限らず）日本の何処かの農村を支えてくれば良い」という受入農家の言葉から、農業の懐の深さが窺えます。



□岩手県胆江地方でのこれまでの取り組み

岩手県庁勤務の和歌山大学OBの存在が縁で「事業ありきではない持続的な農村再生の仕組みづくりを大学と一緒に考えよう」と2012年5月に和歌山大学教員と県庁職員・地元農家との話し合いがスタート。2012年9月には、5戸の受入農家と9名の和歌山大学学生の参加で初めての農村ワーキングホリデー（3泊4日）が実施されました。その後交流が深まり、2012年12月には、農村ワーキングホリデー受入農家が和歌山県を訪れるなど相互訪問が実現します。そして、2013年3月には、農村ワーキングホリデーの効果を拓けるべく受入農家の呼びかけで「農山村再生セミナー」を開催。和歌山大学から教員・ワーキングホリデー参加学生がパネリストとして参加したほか、地元岩手大学や他大学教員・学生の参加も得て交流の幅を広げました。これを機に農村ワーキングホリデーに関心を持つ農家が新たに参加し、2013年4月に地域自ら「胆江（奥州市と金ケ崎町）農村ワーキングホリデー研究会」を設立し、いま今年の農村ワーキングホリデー実施に向けて組織を拡大中です。

このように、僅か半年余りの間に地域は大きく変わろうとしています。農村ワーキングホリデーをきっかけに、ここ岩手県胆江地方は今まさに「熱い！」地域となっているのです。



（写真上：交流の集いにて）



✓岩手県胆江地方

奥州市と胆沢郡金ケ崎町をあわせて胆江地方という。





《 受入農家の声（及川一義さん・淳子さん） 》

普段同業者とばかり話しているので、学生たちとの会話は新鮮でいい刺激を受け、農山村再生以前に私たちが再生され若返ったような気がします。学生や都会の人たちと農業・農村の諸問題を共有認識し、交流を進めていくことが地域再生のまず第一歩だと思います。今回の機会を通して、素晴らしい交流を楽しむことができました。これからも農村ワーキングホリデーの受け入れを継続し、息の長い交流を続けていきたいです。

《 参加学生の声（辻史朗さん・写真左） 》

農村ワーキングホリデーに参加して、自分たちが一生懸命作った野菜やお米にかける農家さんの強い思いを、会話の節々に感じました。単に日帰りの収穫体験ツアー等といった「用意された体験」では農家さんの思いを聞くのは難しかったと思います。農村ワーキングホリデーで農家の暮らしに入り込み、数日間でも「生活」を共にするからこそ「密度の濃い交流」ができたのではないかと思います。



□農村ワーキングホリデーの1日

・酪農家Oさんのばあい

5:00	起床
6:00	牛の給餌・牛舎の清掃
7:00	
8:00	朝食・休憩
9:00	
10:00	稲刈り
11:00	
12:00	昼食
13:00	
14:00	穂仁王づくり（稲架掛け）
15:00	
16:00	
17:00	牛の給餌・牛舎の清掃
18:00	
19:00	入浴
20:00	
21:00	夕食・談話
22:00	
23:00	就寝

農作業中や休憩時間の会話も貴重な交流です！



・米農家Aさんのばあい

5:00	起床
6:00	野菜の袋詰め
7:00	朝食づくり
8:00	朝食・出荷
9:00	野菜の播種
10:00	
11:00	稲刈りのパレット掃除
12:00	
13:00	昼食
14:00	
15:00	
16:00	稲刈り
17:00	
18:00	買い物・夕食準備
19:00	
20:00	夕食・入浴など
21:00	
22:00	
23:00	就寝

朝夕の食事作りも私たちがお手伝いしました！



